

No.	009	—	3001	事務事業名	救急医療対策事業	細事務事業名	東温市在宅当番医制事業他	公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	食育推進係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(8) 地域医療体制の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	軽症患者に対応する初期救急の実施、重症患者に対応する二次救急への支援をすることで、松山医療圏の救急医療体制を維持します。			今年度	市民が安心して暮らせるため、初期救急及び二次救急医療体制を確保します。						
	活動内容	①	初期救急: 東温市医師会に委託することで、東温地区の医療機関が輪番で休日、祝日及び年末年始の日中(9:00~17:00)診察をします。			④							
		②	初期救急: 松山市急患医療センターの運営費を負担することで、夜間の診察体制を確保します。			⑤							
		③	二次救急: 松山医療圏輪番制に参加する医療機関に補助することで、運営負担を軽減し救急医療体制を維持します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		東温市在宅当番医制事業実施日数	休日等の日数に対する事業実施日数		日	目標	70	71	71				
				実績	70	71							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,673 千円	14,326 千円	16,590 千円								
	計(A)	1,673 千円	14,326 千円	16,590 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.005 人 30 千円	0.006 人 36 千円	0.006 人 37 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		1,703 千円	14,362 千円	16,627 千円								
一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	救急医療体制の確保は市民の生命に直結するため、安心して生活するうえで必要不可欠なものです。												
有効性	軽症患者を初期救急が対応し、二次救急の負担が軽減されることで、松山医療圏の救急医療体制の維持に繋がります。												
達成度	医師不足などの問題が現れていますが、現状で必要とされる救急医療体制は維持できています。												
効率性	直営で救急医療機関を設置した場合、莫大な導入経費と維持経費が必要となるため、民間委託及び負担金補助としたほうがコスト面で有利です。												
当面の課題	比較的恵まれている松山医療圏ですが、医師不足などの不安要素も現れており、中予3市3町で効果的な対策を検討する必要があります。												
改革計画	医師会との連絡を密にし、適切な運用を検討していきます。また、市民に対して不要不急な救急利用を避けるように広報啓発していく必要があります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	多様な医療ニーズに対し、医師等医療従事者の不足や疲弊等により救急医療環境が悪化している中、本市においても初期・二次医療ともに市医師会のみならず松山医療圏の協力により成り立っており、広域的な医療連携体制が不可欠であることから、関係市町や医師会等との連携を密にし、効果的な支援を堅持していく必要があります。また、救急医療の機能が円滑か適切に発揮できる対策も必要であり、今後、愛救143運動の推進等市民への広報啓発も強化していく必要があります。												

No.	009	—	3002	事務事業名	医師確保支援事業		細事務事業名	救急勤務医支援事業、産科医等確保支援事業			公的関与	9		
PLAN	課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	該当		事業期間	21年度～年度 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(8) 地域医療体制の充実				
	事業の対象	市内の救急医療機関及び産科・産婦人科医療機関						根拠法令						
	事業の目的	最終的	救急医療及び分娩に従事する医師等の処遇を改善し、必要とされる医療体制を維持確保します。					今年度	救急医療及び分娩に従事する医師等の処遇を改善し、必要とされる医療体制を維持確保します。					
	活動内容	①	救急医療機関に勤務する救急医の処遇改善を図るため、休日・夜間において救急勤務医手当を支給した医療機関に対して補助を行います。					④						
		②	分娩を取り扱う産科・産婦人科医及び助産師に対して、処遇改善を目的として分娩件数に応じて支給される分娩手当金等に対する補助を行います。					⑤						
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		救急勤務医補助延べ人数				人	目標	2,416	2,982	2,707				
			実績	2,348	1,925									
分娩取扱件数					件	目標	496	583	635					
					実績	496	581							
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費			平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金		15,143 千円	5,924 千円	9,843 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		計(A)		15,143 千円	5,924 千円	9,843 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.015 人 91 千円	0.043 人 260 千円	0.043 人 262 千円								
		臨時職員工数・経費		0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		15,234 千円		6,184 千円		10,105 千円							
一次評価者	食育推進係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	市民が安心して生活するためには、医療体制を維持することが重要です。それには、医師等の処遇を改善して人材を確保する必要があります。													
有効性	処遇改善に係る費用を補助し負担を軽減することで、医療機関の取り組みを支援します。													
達成度	国の補助制度を利用するため、必ずしも実績の全てが反映されるとは限りません。													
効率性	国による全額補助のため、市の負担はありません。													
当面の課題	国の補助要綱改正に準じて補助金額を減額したが、市ができる医療機関支援として、国の補助制度がある限り継続していく予定です。													
改革計画	当該事業は、東温市民だけでなく他市町住民も実績として算定され、市単独補助には適さないため、国・県に対して財政支援の継続を要望していきます。													
二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	救急医療をはじめ、多様な医療ニーズに対し、医師等医療従事者の不足や疲弊等により医療環境がますます悪化している中、救急勤務医や産科医等の確保など地域医療提供体制の確保充実を図るため、国の財政的支援は欠くことができないものであることから、引続き制度の維持継続の働き掛けが望まれます。													

No.	009	—	3003	事務事業名	危機管理関係事業	細事務事業名	災害時保健活動マニュアル作成等業務・被災地支援	公的関与	4				
PLAN	課名	健康推進課	係名	食育推進係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(1)危機管理部門の充実				
	事業の対象	市民及び東温市外の被災者（支援等）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	東温市の地域に係る災害時保健活動について定め、これを推進することにより、住民の生命、身体を災害から保護し、快適で安全・安心な暮らしが実感できる、質の高い居住環境づくりを進めます。			今年度	災害時保健活動マニュアル作成に向けた調査研究を行います。						
	活動内容	①	災害が広域化した場合には、東温市独自の行動計画では不十分と考えますので、松山圏域災害医療対策会議等により周辺市町の計画等の収集を行ないます。			④							
		②	東温市地域防災計画(医療、保健分野等)見直し作業の確認を行ないます。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備 考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	平成24年度より、事務事業一覧表の見直しを行い、新たに追加しました。							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
	計(A)	0千円	0千円	0千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.007人	41千円	0.015人	91千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円		41千円		91千円						
一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	行政が行なうべき重要課題です。												
有効性	類似施策はなく、事業の継続は不可避です。												
達成度	国、県の上位計画との整合性をもった東温市地域防災計画により災害時保健活動マニュアルも策定すべきものと考えます。												
効率性	計画策定は低コストで可能ですので、削減は不要です。												
当面の課題	災害時保健活動マニュアルが未作成です。												
改 革 画	東温市地域防災計画の見直し作業終了後、計画にそった災害時保健活動マニュアルの作成に向けて、調査研究・情報収集等を行います。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	東南海地震等大規模災害発生に備え、東温市地域防災計画に位置付けられている医療救護対策の実践活動指針となる東温市版医療救護活動マニュアルの作成が望まれることから、愛媛県が策定した災害時保健衛生活動マニュアルを参考にするなど早期の作成に向けた検討が望まれます。												

No.	009	—	3005	事務事業名	保健事業推進業務	細事務事業名	衛生委員関係等業務	公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	食育推進係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1)保健事業推進体制の充実				
	事業の対象	自治区長から推薦を受けた者を市長が委嘱した東温市衛生委員(73名)				根拠法令	東温市衛生委員設置要綱						
	事業の目的	最終的	地球と共生する快適環境のまちづくり及びみんなが元気になる健康福祉のまちづくりの推進に努めていただくための事務事業を行ないます。			今年度							
	活動内容	①	年度末に自治区長さんへ翌年度の衛生委員推薦依頼を行ない、推薦いただいた方に市長が委嘱を行なう事務事業を行ないます。			④	年度末に、報償費の支払事務を行ないます。						
		②	年1回以上の研修会を開催し、健康づくりに関する情報提供及び意見交換等を行います。			⑤							
		③	年間を通じ、市が行う各種健診、診察相談等の会場での案内、誘導を依頼します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	平成24年度より、事務事業一覧表の見直しを行い、新たに追加しました。							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	2,304千円	2,303千円								
	計(A)	0千円	2,304千円	2,303千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.063人	381千円	0.070人	427千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.009人	17千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円		2,702千円		2,730千円						
一次評価者	食育推進係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	個人情報保護の観点から自治区内の住民情報を封書での扱いとはいえ、年に1回収することへの抵抗感は年々増大していると思われます。												
有効性	自治区内の役員さんが、各種健診や健康講座の案内を周知くださる事で、市の事業がより身近に感じられます。												
達成度	概ね事業目標は達成していると思われます。												
効率性	健診の申し込み等を個人レベルで実施すると、回収率も悪くなり受診率低下の懸念があります。												
当面の課題	衛生委員さんの任期が1年間であり、役割の周知が課題と考えます。												
改計画	個人情報の保護に十分配慮することは当然とし、衛生委員を引き受けて頂くことで自身の健康づくりへのきっかけづくりとなるよう配慮いたします。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	衛生委員の役割として、市が行う健康づくり施策(健診診査や健康講座等)や環境衛生に関する協力支援や普及啓発を行って頂いていますが、任期が単年度であり、地域の実情や従前から慣行等により地区間の配置数も異なっており、活動意識や取組み内容に差異も見受けられることから、今後、より実効性のある活動形態や役割機能をより円滑、適切に発揮していただくための検討が望まれます。												

No.	009	—	3006	事務事業名	健康増進計画推進事業	細事務事業名	健康増進計画推進事業	公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	健康栄養係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	20年度～25年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1)保健事業推進体制の充実				
	事業の対象	全市民				根拠法令	健康増進法						
	事業の目的	最終的	生涯にわたり、いきいきとした健康的な生活が営めるまちづくりに努めます。			今年度	計画の推進と合わせて25年度の計画評価、2次計画策定に向けた準備を進めます。						
	活動内容	①	関係組織、機関の代表者で組織する「健康づくり推進協議会」を開催し、健康づくりに関する方向性を検討します。			④							
		②	作業部会として組織する「老成人保健推進部会」、「母子保健推進部会」で現計画の評価、2次計画に関する検討をします。			⑤							
		③	現計画評価、2次計画策定のための資料収集を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		健康づくり推進協議会、部会開催回数	計画の評価、課題の検討について検討するため		回	目標	6	6	7				
				実績	6	6							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	平成24年度より、事務事業一覧表の見直しを行ない、新たに追加しました。							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	213千円	2,138千円								
	計(A)	0千円	213千円	2,138千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.238人	1,440千円	0.300人	1,828千円					
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.025人	47千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		0千円		1,700千円		3,966千円							
一次評価者	健康栄養係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	関係機関等で実施されている事業を本計画に関連させて実施してもらうことで、計画の効果的な推進が期待できます。												
有効性	関係機関での取り組みに関して情報交換し、連携を進めていくことでより、効果が見込めます。												
達成度	市全体での目標や現状を理解してもらうことで、各機関で実施している事業の評価ができています												
効率性	計画の効果的な推進、評価について関係機関の意見が反映できています。												
当面の課題	計画の推進のためには、他課、関係機関と目的や課題を共有し事業を展開する必要があります。1次計画の評価で、各機関の事業の成果、課題を示すことが、今後の計画を更に推進するために必要と考えています。												
改計画	計画の評価作業の際に、関係機関とのワーキングを開催し、評価指標から各機関の事業の成果、課題の検討を行います。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	次期計画策定に向け、現行計画に基づく各施策の展開内容の評価や課題の抽出等を踏まえ、新たな指標設定や重点目標設定等のための実務レベルでの十分な検討が必要と思われます。 また、東温市の健康づくりの基本指針となるものであることから、東温市の地域特性を活かし、より実効性の高い計画の策定が望まれます。												

No.	009	—	3008	事務事業名	食育推進業務			細事務事業名	食育推進業務			公的関与	1
PLAN	課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興			主要施策	(8)「食育」の推進		
	事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等					根拠法令	食育基本法					
	事業の目的	最終的	東温市の食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項について継続して検討します。				今年度	食育推進計画に基づく各種施策の実施状況の確認、委員からの意見を関係部署に繋げるよう努めます。					
	活動内容	①	食育推進会議を必要に応じて開催します。				④						
		②	食育推進会議で、各部署が取り組んでいる食育事業の内容や実施方法等について、関係団体代表者等と意見交換を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標		
		会議開催回数	開催（予定）回数			回	目標	3	2	4			
				実績	2	2							
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	94 千円	92 千円	3,270 千円								
	計(A)	94 千円	92 千円	3,270 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.361 人	2,180 千円	0.213 人	1,288 千円	0.213 人	1,298 千円					
		臨時職員工数・経費	0.040 人	73 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	2,347 千円		1,380 千円		4,568 千円							
一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市の食育事業は多方面にわたるため、意見等をいただき、調整等を行うため、市が行う必要性があります。												
有効性	多方面の方々から意見等をいただき、市の食育事業に取り入れることで、その効率や効果の向上が期待できます。												
達成度	会議の意見は可能な限り食育事業に反映するようにしています。												
効率性	食育事業を効率よく、かつ、効果的に進めていくことを目的に実施していますので、その効果が期待できます。												
当面の課題	会議を開催することが目的になりつつあり、実践的な取組を導入していく必要があります。												
改革計画	食育事業は各課が並行して独自に実施しているものが多く、効率的・効果的に実施するために連携することを検討していきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	食育は、食生活の改善、卓育、食の安全・安心、食品衛生、食文化、地産地消、消費生活など多様な展開による推進が期待されており、また、行政はもとより、家庭や地域、職場、学校など様々な領域分野における実践の拡充が望まれることから、これらの有機的な連携のもとに相乗の効果が生み出せるようなさらなる情報共有が必要と思われます。また、専門家等有識者で構成する食育推進会議からの提言した情報等を有効活用し、実践活動に反映できる体制づくりの検討も必要と思われます。												